

『広報りふ』が2021年5月号から『利府町公式YouTubeチャンネル』で配信となり、パソコンやスマホでも町民の皆さんに聞いて頂けるようになりました。音源は「Gグループ・十符の音(ね)」の皆さんが、毎月ボランティアで広報紙を音訳・収録

人の温かみのある声で、「声の広報りふ」をお届け。

録している「声の広報りふ」です。「目の不自由な方に、広報紙を音声で届けてはどうか」という提案をきっかけに、2001年7月、養成講座の修了生が同グループを立ち上げました。「何か人の役に立つことをしたい」という思いを受け継ぐ現在の会員の皆さんが、活動を継続しています。モットーは、「正しい情報をわかりやすく、語りかけるように」。当初は小学校

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

十符人

ーとふとー

G(グループ)・十符の音(ね)の皆さん

「視覚障がい者に広報紙を声で届けては」という提案をきっかけに、町主催で養成講座・研修を実施。2001年7月、その修了生10名でグループを発足。以来20年以上にわたり、「声の広報りふ」の音訳・収録を継続。2021年5月号より「利府町公式YouTubeチャンネル」でも配信開始。現在10名の会員(1名休会中)が活動。



「利府町公式YouTubeチャンネル」でも
配信中!



『声の広報りふ』の録音・校正に励む
「G・十符の音」の会員の皆さん。



リフノスの図書館にも
「声の広報りふ」のCDを
置いています。

の放送室を借りて一日がかりでカセットテープに録音。やがてCD2枚への収録となりましたが、コロナ禍の現在は各自が担当箇所を自宅で音訳。パソコンでの録音操作も協力してマスターし、校正を経て編集したCDを、社会福祉協議会を通して視覚障がい者に届けています。「最近広報紙をAで読み上げる市町村も多いと聞きますが、やはり私たちは「人の温かみのある声」で情報をお届けしたい。そしてより多くの方に聞いて頂きたいですね」と会員の皆さん。最後に「録音は緊張感を伴いますが、仲間同士で和気あいあいと活動しています。音読は脳活にも良いそうですよ。新しいメンバーも募集しています」とのお話を頂きました。

東北学院 大学黒須憲教授にインタビューをしました!

利府町では「みんなの夢がかなうまち」の実現に向け、スポーツおよび武道文化の普及に向け様々な取り組みを行っています。その中で黒須教授には特に、弓道文化の普及振興にご協力いただいています。様々な活動を通しての思いなどをインタビューさせていただきました。

●現在の活動や活動を通しての思い

古流である日置流印西派は、現在一般的に行われている射術以外に幕末から伝わった実戦での射術の型を継承しています。演武は、鉄砲が主となった幕末、全国的に弓道を指導する藩が少なくなってきた中で、藩士の志気を高め射術文化を残していくため、当時の師範がまとめたものです。現在の弓道「競技」とは違ったものとして今後も継承していきたいと思えます。またスポーツ流鏝馬についても、弓術と馬術が互いに連携し、数居の高さを感じずにだれもができるものとして普及させていきたいと思っています。

●演武と弓矢体験を振り返っての感想

地元の方々と触れ合うことができ、とても良い機会になったと思います。また、子ども達が弓道を体験したことは本当に意義のあることだと感じています。同じような演武や体験会を行っている団体は全国的にも少ないですが、このような取り組みがさらに広がっていけばよいと思います。

●利府町に対してひとこと

利府町はスポーツのまちというイメージがあります。しかし、グランディ・21のような施設がある一方、弓道場や武道館がなく武道の面では普及が進んでいないと思っています。ぜひとも利府町に弓道場を建築していただき、町民の方々の弓道人口が増えていけば嬉しいです。

第30回「十符の里-利府」フェスティバル ~ALL RIFU 産業祭~でもご協力いただきました!



東北学院大学教養学部
黒須 憲教授

